

畜産学（宮崎開催） 対面学習第3回 確認テスト

シラバス名：畜産学

科目名：肉用牛・畜産業の基礎

問題1：生まれた子牛が、哺育・育成から肥育されて出荷までの期間について、正しいのはどれか。

- ① 9か月 ② 10か月 ③ 15か月 ④ 20か月 ⑤ 30か月

問題2：産業動物とコンパニオンアニマルの記述で、間違っているものはどれか。

- ① コンパニオンアニマルは、人と暮らし家族の一人、社会の一員へと変化してきた。
② 動物の飼養が、畜主の経済行為として行われるのが産業動物である。
③ 産業動物には、「産業動物の飼養及び保管に関する基準」は定められていない。
④ 産業動物は、一般的には家畜や家禽（かきん）と呼ぶ。
⑤ 産業動物は、その生産物や労働力が人間にとって有用な動物である。

問題3：動物看護師が畜産の現場で求められる能力で、間違っているものはどれか。

- ① 最も必要な能力は、動物や家畜を視る目である。
② 農場には行かないで、動物病院で獣医師や飼い主のケアをしていれば良い。
③ 産業動物だからこそ、最大限に快適な環境を整備する必要がある。
④ 動物看護師は、産業動物である家畜の淘汰の時期を判断するための助言も必要だ。
⑤ 農場で家畜を視る場合、先ず全体からグループ、個体へと観察が必要である。

問題4：肉用牛経営の経営分類について、間違っているものはどれか。

- ① 繁殖雌牛に人工授精し、子牛を分娩させて哺育・育成し販売するのは繁殖経営である。
② 繁殖雌牛の妊娠期間は約10か月である。
③ 子牛（もと畜）を購入し、約20か月間肥育し出荷するのは肥育経営である。
④ 繁殖雌牛は分娩後に約10か月間、休息してから人工授精（種付け）をする。
⑤ 一貫経営は繁殖経営と肥育経営を同時に行っている経営である。

問題5：肉用牛の4区分と各品種で、正しいのはどれか。

- ① 交雑種（F1）は、乳用種の雌（♀）に黒毛和種の雄（♂）を交配したものである。
② 肉専用種には、和牛3品種の肉用牛がいる。
③ 乳用種は、肉用牛経営の副産物である。
④ 褐毛和種は、黒毛和種より肉質が良く、多く飼われている。
⑤ 外国種は、アングス、ヘレフォード、ホルスタインの3品種である。

問題6：肉用牛経営の生産費用のうち四大費用について、正しいのはどれか。

- ① 四大費用は、家族労働費、飼料費、もと畜費、診療費である。
② 家族労働費の効率化は、飼養頭数や作業動線を考えなくても良い。
③ 減価償却費は、固定資産となる成雌牛の初回種付け以降の牛である。
④ 肉用牛の棚卸資産は、子牛と育成牛のみである。
⑤ 労働時間が長ければ長いほど、肉用牛は健康で良い経営である。

問題7：肉用牛経営の生産費用のうち労働力の効率化で、正しいのはどれか。

- ① 肉用牛の疾病や事故などは、担当者のみが知っていれば良い。
- ② 家族の仕事の分担や役割が明確であれば、作業マニュアルは必要ない。
- ③ 農場主が経営収支や負債額を知っていれば全員が共有しなくても良い。
- ④ 家族全員が肉用牛の飼養管理や技術等の情報を共有する必要がある。
- ⑤ 仕事は気がついた人が率先して行い、役割分担は不要である。

問題8：肉用牛(繁殖)経営の儲けは、何産以降からか、正しいのはどれか。

- ① 1.0産 ② 1.5産 ③ 2.0産 ④ 2.5産 ⑤ 3.0産以上

問題9：健康な肉用牛に必要な「6つの自由」として、間違っているものはどれか。

- ① 6つの自由のうち、一つが制限されても肉用牛は健康である。
- ② 肉用牛の放牧地での行動を、畜舎内に取り入れることが大切である。
- ③ 6つの自由は、空間、飼料（えさ）、水、光、空気、休息である。
- ④ 新鮮な空気は、肉用牛を活動的にする。
- ⑤ 子牛の哺育・育成期間に、下痢や風邪を引かせないように注意が必要である。

問題10：肉用牛が何を求めているか見分ける視点として、正しいのはどれか。

- ① 肉用牛で危険な時間帯は、家畜の移動直後で、肉用牛の相性は重要ではない。
- ② 動物看護師の「五感」を最大限に発揮して観察する。
- ③ 肉用牛の飼養状況は、注意深く視ているだけで、体感しなくても良い。
- ④ 肉用牛の体に傷や擦れなどが複数頭に見られても、治療さえすれば問題ない。
- ⑤ 肉用牛さえ視ていれば、授精記録や飼料給与量などのデータは見なくても良い。

畜産学（宮崎開催） 対面学習第3回 確認テスト ※正答

シラバス名：畜産学

科目名：肉用牛・畜産業の基礎

問題1：生まれた子牛が、哺育・育成から肥育されて出荷までの期間について、正しいのはどれか。

- ① 9か月 ② 10か月 ③ 15か月 ④ 20か月 ⑤ 30か月

問題2：産業動物とコンパニオンアニマルの記述で、間違っているものはどれか。

- ① コンパニオンアニマルは、人と暮らし家族の一人、社会の一員へと変化してきた。
② 動物の飼養が、畜主の経済行為として行われるのが産業動物である。
③ 産業動物には、「産業動物の飼養及び保管に関する基準」は定められていない。
④ 産業動物は、一般的には家畜や家禽（かきん）と呼ぶ。
⑤ 産業動物は、その生産物や労働力が人間にとって有用な動物である。

問題3：動物看護師が畜産の現場で求められる能力で、間違っているものはどれか。

- ① 最も必要な能力は、動物や家畜を視る目である。
② 農場には行かないで、動物病院で獣医師や飼い主のケアをしていれば良い。
③ 産業動物だからこそ、最大限に快適な環境を整備する必要がある。
④ 動物看護師は、産業動物である家畜の淘汰の時期を判断するための助言も必要だ。
⑤ 農場で家畜を視る場合、先ず全体からグループ、個体へと観察が必要である。

問題4：肉用牛経営の経営分類について、間違っているものはどれか。

- ① 繁殖雌牛に人工授精し、子牛を分娩させて哺育・育成し販売するのは繁殖経営である。
② 繁殖雌牛の妊娠期間は約10か月である。
③ 子牛（もと畜）を購入し、約20か月間肥育し出荷するのは肥育経営である。
④ 繁殖雌牛は分娩後に約10か月間、休息してから人工授精（種付け）をする。
⑤ 一貫経営は繁殖経営と肥育経営を同時に行っている経営である。

問題5：肉用牛の4区分と各品種で、正しいのはどれか。

- ① 交雑種（F1）は、乳用種の雌（♀）に黒毛和種の雄（♂）を交配したものである。
② 肉専用種には、和牛3品種の肉用牛がいる。
③ 乳用種は、肉用牛経営の副産物である。
④ 褐毛和種は、黒毛和種より肉質が良く、多く飼われている。
⑤ 外国種は、アングス、ヘレフォード、ホルスタインの3品種である。

問題6：肉用牛経営の生産費用のうち四大費用について、正しいのはどれか。

- ① 四大費用は、家族労働費、飼料費、もと畜費、診療費である。
② 家族労働費の効率化は、飼養頭数や作業動線を考えなくても良い。
③ 減価償却費は、固定資産となる成雌牛の初回種付け以降の牛である。
④ 肉用牛の棚卸資産は、子牛と育成牛のみである。
⑤ 労働時間が長ければ長いほど、肉用牛は健康で良い経営である。

問題7：肉用牛経営の生産費用のうち労働力の効率化で、正しいのはどれか。

- ① 肉用牛の疾病や事故などは、担当者のみが知っていれば良い。
- ② 家族の仕事の分担や役割が明確であれば、作業マニュアルは必要ない。
- ③ 農場主が経営収支や負債額を知っていれば全員が共有しなくても良い。
- ④ 家族全員が肉用牛の飼養管理や技術等の情報を共有する必要がある。
- ⑤ 仕事は気がついた人が率先して行い、役割分担は不要である。

問題8：肉用牛(繁殖)経営の儲けは、何産以降からか、正しいのはどれか。

- ① 1.0産 ② 1.5産 ③ 2.0産 ④ 2.5産 ⑤ 3.0産以上

問題9：健康な肉用牛に必要な「6つの自由」として、間違っているものはどれか。

- ① 6つの自由のうち、一つが制限されても肉用牛は健康である。
- ② 肉用牛の放牧地での行動を、畜舎内に取り入れることが大切である。
- ③ 6つの自由は、空間、飼料（えさ）、水、光、空気、休息である。
- ④ 新鮮な空気は、肉用牛を活動的にする。
- ⑤ 子牛の哺育・育成期間に、下痢や風邪を引かせないように注意が必要である。

問題10：肉用牛が何を求めているか見分ける視点として、正しいのはどれか。

- ① 肉用牛で危険な時間帯は、家畜の移動直後で、肉用牛の相性は重要ではない。
- ② 動物看護師の「五感」を最大限に発揮して観察する。
- ③ 肉用牛の飼養状況は、注意深く視ているだけで、体感しなくても良い。
- ④ 肉用牛の体に傷や擦れなどが複数頭に見られても、治療さえすれば問題ない。
- ⑤ 肉用牛さえ視ていれば、授精記録や飼料給与量などのデータは見なくても良い。